

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-89	高等学校	地理歴史	地理総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	地総 702	地理総合		

## 1. 編修の基本方針

○ 2 条の目標を達成するため、次の通り編修した。

- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、学習効果の高い地図やグラフを多数掲載した。また、同様の観点から、本文記述の歴史的背景を学べるコラム「歴史への旅」、本文記述に関連した最新の話題や動向を学べるコラム「時事ノート」を設けた。さらに、作業的で具体的な体験を伴う学習を通じて地理的技能を養えるコラム「アクティブ」も多数設けた（第1号）。
- ・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒の思考力、判断力、表現力等の養成に資する問いかけを全編にわたって掲載した（第2号）。
- ・主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、生活圏における地理的な課題の把握、調査、考察、構想のあり方についての記述を掲載した（第3号）。
- ・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、地球環境問題と国際的な取り組みについての記述を掲載した（第4号）。
- ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国の領土に関する内容を詳述した。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、国際理解に資する内容を詳述したほか、国際社会のあり方を多面的・多角的に学習できるように、世界の多様な生活文化を学べるコラム「クローズアップ」、国際社会の繋がりを学べるコラム「つながる世界」をそれぞれ設けた（第5号）。

## 2. 対照表

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、世界のさまざまな指標を地図で確認できるようにした。また、世界の農作物や家畜について具体的なイメージを踏まえながら原産地などの基礎情報を理解できるようにしたほか、世界の気候区分に関する図版を大きく取り上げ、視覚的にわかりやすく理解できるようにした（第1号）。</li> </ul>	巻頭①～⑦

<p>第1編</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、さまざまな投影図法、一般図、主題図のあり方などについて、本文記述で基礎的な知識理解をはかり、作業的で具体的な体験を伴うコラムでその知識の定着を図れるように工夫した（第1号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、自主及び自律の精神を養う観点から、GISによる分析を紙面上で体験できる教材を設け、位置や分布に着目した地理的な学びの契機に位置付けられるように工夫した（第1号、第2号）。</li> <li>・我が国と郷土を愛する観点から、世界的な視野に立って我が国の位置やあり方を捉えられるような地図や図版を設けた（第5号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、位置や分布に着目した地理的な学びに資する地図教材を複数掲載した（第1号）。</li> </ul>	<p>p. 7, 210-211 p. 9, 212 p. 10, 214-215 p. 11, 213, 216-219</p> <p>p. 13, 透過シート</p> <p>p. 16</p> <p>p. 18, 19, 20, 22, 24</p>
<p>第2編1章</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目しながら知識を深めることのできる本文記述とした（第1号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、雨温図と気候のあり方などについて、作業的で具体的な体験を伴うコラムでその知識の定着を図れるように工夫した（第1号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、「特色ある事例（テーマ）」を選択して学習できるように工夫した（第2号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、世界の諸地域における生活文化のあり方などを中心に、国際理解に資する内容を詳述した（第1号、第5号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、自主及び自律の精神を養う観点から、GISによる分析を紙面上で体験できる教材を設け、場所や人間と自然環境・社会環境との相互依存関係などに着目した地理的な学びの契機に位置付けられるように工夫した（第1号、第2号）。</li> </ul>	<p>p. 26-41</p> <p>p. 220</p> <p>p. 43, 71, 93, 123</p> <p>p. 42-149</p> <p>p. 45, 49, 51, 52, 透過シート</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、各グループの主題と我が国における生活文化のあり方とを関連付けて学ぶことのできるコラムを設け、生徒が国際理解のあり方を自分ごととして捉え、考えることができるように工夫した（第3号、第5号）。</li> </ul>	p. 69, 91, 121, 149
第2編2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、現代社会が抱える多様な地球的課題と国際協力のあり方について詳述した（第1号、第4号、第5号）。</li> <li>・自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、具体的な地球的課題を主題として設定し、主体的・対話的な深い学びにつながるコラムを設けた（第3号、第5号）。</li> </ul>	p. 150-171  p. 172-173
第3編1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、主に我が国の自然環境や自然災害、防災のあり方について詳述した（第1号、第5号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、自主及び自律の精神を養う観点、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、本文記述で地形条件と浸水のあり方、避難経路の考え方などの基礎知識や考え方を理解し、作業的で具体的な体験を伴うコラムでその知識や考え方の定着を図れるように工夫した（第1号、第2号、第3号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、自主及び自律の精神を養う観点から、GISによる分析を紙面上で体験できる教材を設け、地域（自然的要素）に着目した地理的な学びの契機に位置付けられるように工夫した（第1号、第2号）。</li> </ul>	p. 174-191  p. 192-195, 224-227  p. 193, 透過シート
第3編2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点、自主及び自律の精神を養う観点、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、地域調査の手法に関する内容を詳述した（第1号、第2号、第3号）。</li> </ul>	

卷末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、世界の地帯構造に関する内容を大きく取り上げ、視覚的にわかりやすく理解できるようにした（第1号）</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国の世界遺産を取り上げ、我が国の文化と貴重な自然について、理解できるようにした（第5号）。</li> </ul>	<p>卷末⑧～⑨</p> <p>卷末⑩</p>
----	---	-------------------------

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第五十一条二項（一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること）に則して、生徒が社会生活を送るうえで必要となる地理的技能を無理なく養えるよう、特に配慮した。
- ・学校教育法第五十一条三項（社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと）に則して、多様なコラムや問いかけなど教科書全体を通じて、生徒が多面的・多角的に物事を理解したり、考えたりできるよう、特に配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-89	高等学校	地理歴史	地理総合	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	地総702	地理総合		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

「地理総合」が地理歴史科の必修科目であることを鑑み、生徒が興味・関心を持ちながら、基礎的・基本的な事項を無理なく学習できるように、以下の点について配慮した。

- 1) 生徒の主体的な学びを促したり、学習の動機付けをはかったりできるように、各種資料の着目点を確認する「気づきの問い」を随所に設けた。
- 2) 地理的な見方・考え方にに基づきながら、社会的な諸事象・諸課題を多面的・多角的に考察したり、課題解決に向けて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養うため、各ページに、地図・資料から情報を読み取ったり、地図・資料を比較したりする「Check」、学んだことを踏まえながら考えたり、構想したり、表現したり、調べたりする「Try」を設け、生徒の主体的な学びのきっかけを作り、対話的な学習を促し、それらを段階的に発展させて深い学びにつなげ、地理的な課題を主体的に追究、解決しようとする力や態度を養う一助となるように工夫した。
- 3) 地図や地理情報を教材として取り上げた作業的で具体的な体験を伴う学習によって興味・関心を喚起し、生徒自身が主体的に地理的技能を習得できるよう、コラム「アクティブ」を設けた。
- 4) 地理情報を用いた汎用的かつ実践的な地理的技能の端緒となるよう、地理情報システム(GIS)に関する基礎的・基本的な知識や技能を紙面上で確認・習得できる教材「透過シート」を設けた。
- 5) 本文を理解するうえで重要な用語については、用語解説型の注でコンパクトにわかりやすく解説した。
- 6) 多種多様な図、写真、資料から情報を読み取り、本文で説明する地理的事象に関わる事実的知識や概念的理解と関係づけることで、現代社会の地理的事象を多面的・多角的に考察できるようにした。
- 7) 我が国の位置や領域について、世界的な視野から捉えつつ、歴史的背景を踏まえながら詳述した。また、世界的視野から我が国の位置や範囲を捉えることのできる地図や諸資料、海洋国家としての特色を理解できるコラムを掲載した。

- 8) (B)-(1)-(1)「生活文化の多様性と国際理解」における「世界の人々の特色ある生活文化」については、「自然環境からみた世界の生活文化」と「各種社会環境からみた世界の生活文化」といった観点でグループ化をおこない、世界の生活文化の多様性や変容に関わる地理的環境について多面的・多角的に考察させて、国際理解の重要性に気づかせる学習活動ができるようにした。また、複数の地域を事例として取り上げた後者では、網羅的な地域学習とならないよう、各グループの冒頭に導入ページを設け、生徒が考察するにふさわしい特色ある事例（テーマ）を選んで学習できるようにした。
- 9) 「世界の人々の特色ある生活文化」については、日本とのつながりや共通点・相違点に着目し、多様な習慣や価値観などをもっている人々と共存していくことの意義に気付けるようなコラムを各所に設けることで、生徒が国際理解のあり方を日常的な視点と結び付けて捉えられるように工夫した。
- 10) 世界の人々の特色ある生活文化に関わる自然環境について、本文理解の一助となるよう、世界の気候区分と大地形を常に参照できるように工夫した。
- 11) 地球的課題について、持続可能な社会づくりなどに着目しながら諸課題の現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察、構想、表現したり、それらを基に議論したりする力を無理なく習得できるように、具体的な事例に基づくコラムを最終ページに設け、生徒の主体的・対話的で深い学びの一助となるように工夫した。
- 12) 自然災害と防災について、地形図やハザードマップなどの主題図の読図、地理情報の活用など、日常生活と結び付いた地理的スキルを身に付けるとともに、防災意識を高めることができるように、作業的で具体的な体験的を伴う学習を通じて、地域性を踏まえた自然災害への対応や防災のあり方を実践的に習得できるページを複数設けた。
- 13) 生活圏の調査をおこなうための基盤となる「地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法」の習得については、具体的な地域を設定して、その地域における諸課題の把握、調査、考察、構想のあり方を詳述するとともに、イラストを多用して視覚的に無理なく習得できるように工夫した。
- 14) 世界の人々の特色ある生活文化に深く関わる歴史的背景を学べるコラム「歴史への旅」や、世界の生活文化の多様性を学べるコラム「クローズアップ」、地域や国どうしのつながりや関係性を学べるコラム「つながる世界」を随所に設けることで、生徒の興味・関心を喚起しつつ、多面的・多角的な観点から世界の人々の生活文化を捉えられるように工夫した。
- 15) 現代社会にみられる特徴的な事象を地理的な見方・考え方で捉えるためのきっかけとなるよう、最新の社会情勢や諸課題を扱ったコラム「時事ノート」を設けた。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	(A) 地図や地理情報システムで捉える現代世界	p. 6-25	20
第2編 国際理解と国際協力	(B) 国際理解と国際協力	p. 26-173	28
第1章 生活文化の多様性と国際理解	(1) 生活文化の多様性と国際理解	p. 26-149	20
第2章 地球的課題と国際協力	(2) 地球的課題と国際協力	p. 150-173	8
第3編 持続可能な地域づくりと私たち	(C) 持続可能な地域づくりと私たち	p. 174-205	15
第1章 自然災害と防災	(1) 自然環境と防災	p. 174-195	10
第2章 国際理解	(2) 生活圏の調査と地域の展望	p. 196-205	5
		計	63